

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスブルームへちま		
○保護者評価実施期間	2024年 4 月 1 日		～ 2025年 2 月 12 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	2025年 1 月 31 日		～ 2025年 2 月 12 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2 月 17 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者の方との信頼関係が築けているように思われる。	・職員間でも良い人間関係が構築できており、風通しが良いのでそういった評価を頂いたのではないかと思います。 ・こちら側の不手際があった場合には、必ず保護者の方へ報告・謝罪をして誠意をもって対応している。	・日頃から保護者の方とコミュニケーションを取り、何気ない会話でもそこから何かヒントを得て支援に繋げていく。
2	・移動の際、車椅子やバギーが必要な利用者が多い中、皆でお出掛けをしている。	・近場でのお出掛けではあるが、その日の利用者みんなと同じ時間、同じ雰囲気共有できている。	・身近な場所で未開発な場所を探したり、またただ出掛けるだけでなく、地域の交流に参加したり将来に何か繋げていけるような場所に行ってみる。
3	・当事業所が所有している車両3台が、すべて福祉車両の為車椅子やバギーの利用者を受け入れることが出来る。	・普段、バギーや車椅子で移動している利用者でも、ジュニアシートで乗車できる方はジュニアシートを使う事で、その分車椅子の方が乗車することができるような工夫をしている。	・保護者の方が安心してお子さんの帰りを待つことができるよう、車内に余裕がある際には1人で2人分のスペースを使うことでよりリラックスして乗車してもらったり、温度調整や音楽などをかける等して過ごしやすい環境作りをしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所の中が知られていない。(職員の顔と名前・子どもどうしの関わり)	・名札は児童に引っ掛かったり、支援の妨げになる為に掛けていない。 ・保護者の方がお迎えに来られても玄関で対応していて、事業所内に入る事がないことも要因の一つ。	・年度初めに職員紹介を発信して、そこでどんな職員が支援をしているのか知ってもらう。 ・事業所たよりを定期的に発行し、取り組んでいる事や取り組みに対しての成果などを発信する。 ・参観日のようなものや、茶話会のような取り組みを検討したい。
2	・土曜日の営業が出来ていないこと。	・職員の人員確保が難しい為、土曜日の営業が難しい。	・祝日は開所しているので、家族のレスパイトという観点では祝日や又は平日のところをご利用を頂く事でご協力・ご理解を頂きたいと思っている。
3	・男性職員が少ない為、介護力に欠ける。	・求人募集をしても、男性職員の応募がほとんどない。	・求人募集では、男性保育士以外でも理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、児童指導員、また無資格でも採用に繋げるよう幅を広げていきたい。 ・事業所のPRをしっかりとしていく。